

今月の煉瓦

大阪窯業舗装煉瓦

製造年：大正12年前後



大阪府貝塚市の大阪窯業貝塚工場跡地にて採取。熊取町中家住宅で見つかった製造年銘「1923」入りのものに似ているが、これは社章とデンプルだけで、かわりに左下に何かを擦り消した跡が残っている。同じ頃に試験用に製造されたものか（貝塚工場は舗装煉瓦や空洞煉瓦などの特殊煉瓦を専門に製造していた）。

煉瓦舗装はアスファルト舗装よりも安価かつ容易な舗装法として考案され、大正10年に大阪市街で試験採用されて以来大いに普及した。同12年の関東大震災後は東京八王子工場でも製造されるようになり、帝都復興事業に納入されている。



舗装煉瓦は非常に肉圧なのが特徴で、この煉瓦も小口厚さが9 cmを超える。後年の製品ではディンプルが省略され、かわりに中央に一条の溝を入れたものが坂道舗装用として製造された（添図参照。昭和10年『大阪窯業五十年史』より引用）。

